芦屋市高潮防災情報マップ

※土砂災害・津波に関しては、６月配布の令和元年度芦屋市防災情報マップをご覧ください。
※避難情報のみ令和３年度改正内容に修正しています。

令和元年（2019 年）12 月発行

発　　行／ 芦屋市役所　☎0797-31-2121
〒659-8501 芦屋市精道町７番６号
編集協力／ 兵庫県県土整備部土木局港湾課
問い合わせ／ 芦屋市都市建設部防災安全課
☎0797-38-2093　FAX：0797-38-2157

この地図情報は、地図作成時（2019 年８月）のものであり、兵庫県による被害想定に基づいて作成しています。
※区域の境界や標高等は厳密でなく、目安です。

地図情報の凡例

広域避難場所

地震などによる火災が延焼拡大して地域全体が危険になったときに避難する場所。

避難所

地震等による家屋の倒壊、焼失などで被害を受けた者、又は現に被害を受けるおそれのある者を一時的に受け入れ、保護するために開設する学校等の建物。

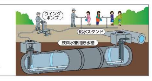
福祉避難所

高齢者や障がいのある方など、一般の避難所生活において配慮を必要とする要配慮者が一時的に生活する避難所。
また、一般の避難所とは異なり、必要に応じて開設する２次的な避難所。

津波一時避難施設

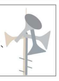
津波からの避難で、遠くへの移動が困難な場合に緊急的かつ一時的に避難するための避難先として堅固で高い建物を市内各所で指定。
避難所のように避難生活をする場所としての位置づけはない。

飲料水兼用貯水槽


ウイングポンプ
給水スタンド
飲料水兼用貯水槽

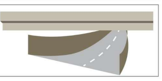
災害時に必要な飲料水を確保するために市内に設置されている。
芦屋市民全員の３日分の飲料水を供給することが可能。

屋外拡声子局スピーカー



防災行政無線の屋外拡声子局スピーカー。放送内容が聞き取れなかった場合等は、自動応答電話（☎0180-99-7787（通話料有料））でもう一度聞くことができる。
毎日１７時に「夕焼け小焼け」の試験放送をしている。

地下道（アンダーパス）



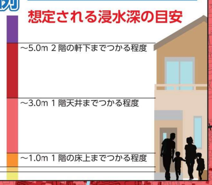
道路や鉄道などと立体交差して下を通る道路。
市内には、大雨や洪水時に冠水の可能性があるアンダーパスが８か所ある。

◎	市役所	🚁	ヘリコプター臨時離着陸場
⊗	警察署	⌂	防災倉庫
X	交番・駐在所	(10.5) 数値は標高	標高表示板
Y	消防署・出張所	▮	河川警報装置設置箇所
⊕	病院	▼	水位観測所

最大浸水深の凡例

- 🟪 …5.0m以上 10.0m未満
- 🟥 …3.0m 以上 5.0m未満
- 🟥 …1.0m以上 3.0m未満
- 🟧 …0.5m以上 1.0m未満
- 🟨 …0.3m以上 0.5m未満
- 🟨 …0.0m以上 0.3m未満

想定される浸水深の目安

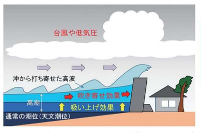

～5.0m 2 階の軒下までつかる程度
～3.0m 1 階天井までつかる程度
～1.0m 1 階の床上までつかる程度
～0.5m
～0.3m

高潮の発生と仕組み

- 台風や発達した低気圧が原因で発生し、気圧の低下による吸い上げ効果や強風による吹き寄せ効果により、海面が異常に上昇する現象。
- 高波が加わるとさらに海面が上昇。

高潮発生の要因

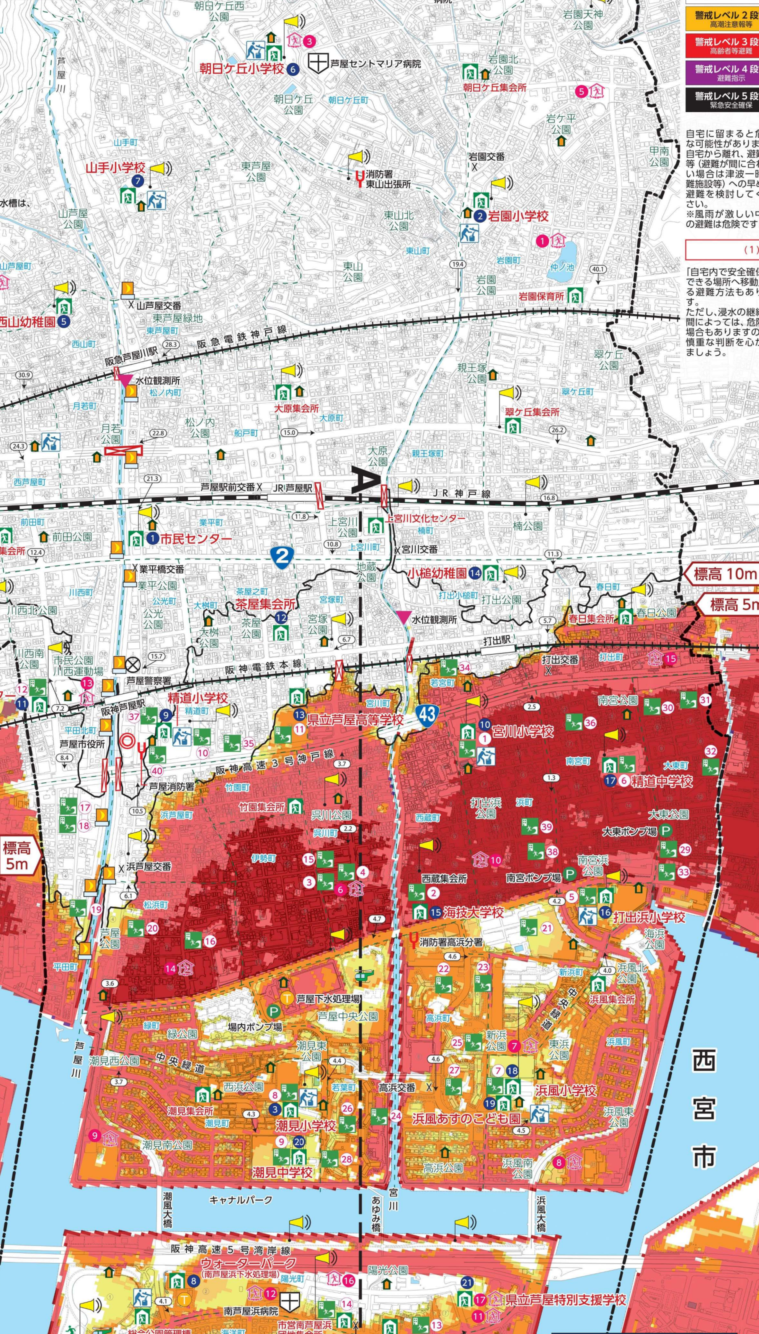
台風に伴う風が原因で起こる「吹き寄せ効果」


台風や低気圧
沖から打ち寄せた高波
吹き寄せ効果
高潮
吸い上げ効果
通常の潮位（天文潮位）

台風や低気圧が接近して気圧が低くなって起こる「吸い上げ効果」

「高潮イラスト」
（気象庁ホームページより）

- 高潮の最盛期には暴風や豪雨も伴うので、避難することが危険になります。気象情報を確認し、安全に行動できるうちに避難することが何より大切です。


芦屋学園中学校・高等学校
六麓荘駐在所
芦屋市霊園一帯
芦屋病院
朝日ケ丘小学校
芦屋セントマリア病院
朝日ケ丘集会所
山手小学校
山手中学校
※飲料水兼用貯水槽は、一時撤去中
岩園小学校
消防署東山出張所
西山幼稚園
岩園保育所
山芦屋交番
阪急芦屋川駅
阪急電鉄神戸線
水位観測所
三条集会所
大原集会所
翠ケ丘集会所
芦屋駅前交番
JR芦屋駅
JR神戸線
標高10m
市民センター
前田集会所
茶屋集会所
上宮川文化センター
小槌幼稚園
打出駅
春日集会所
標高5m
体育館・青少年センター
芦屋市役所
精道小学校
阪神芦屋駅
阪神電鉄本線
県立芦屋高等学校
宮川小学校
精道中学校
神戸市
大東ポンプ場
海技大学校
打出浜小学校
消防署高浜分署
芦屋下水処理場
潮見小学校
浜風小学校
浜風あすのこども園
潮見中学校
西宮市
キャナルパーク
阪神高速５号湾岸線
ウォーターパーク（南芦屋浜下水処理場）
県立芦屋特別支援学校
南芦屋浜病院
潮芦屋交流センター
芦屋浜ビーチ
マリーナ
縮尺　1：8,660
0m
500m
1000m
A
B

500 年から 4000 年に１度

避難所　段階的に避難所を開設します。＜高潮（風水害）の場合＞

警戒レベル２

被害が想定される場合に自主避難所として開設

No	名　称	所在地
❶	市民センター	業平町８番 24 号
❷	岩園小学校	岩園町 23 番 41 号
❸	潮見小学校	潮見町１番２号
❹	潮芦屋交流センター	海洋町７番１号

※自主避難所とは、事前の避難を希望される方を対象に開設する避難所です。
あらかじめ各自で食料品・日用品等を準備の上、避難所までお越しください。
※シスメックス GCC も自主避難所として開設されます。
詳細は令和元年度芦屋市防災情報マップ（６月配布）を参照してください。

警戒レベル３

高齢者等避難

No	名　称	所在地
❺	西山幼稚園	西山町 22 番 15 号
❻	朝日ケ丘小学校	朝日ケ丘町 10 番 10 号
❼	山手小学校	山手町８番３号
❽	ウォーターパーク（南芦屋浜下水処理場）	陽光町２番１号
❾	精道小学校	精道町８番 25 号
❿	宮川小学校	浜町１番９号

警戒レベル４以上

避難指示、緊急安全確保（状況に応じて以下の避難所を開設）

No	名　称	所在地
⓫	体育館・青少年センター	川西町 15 番３号
⓬	茶屋集会所	茶屋之町８番 20 号
⓭	県立芦屋高等学校	宮川町６番３号
⓮	小槌幼稚園	打出小槌町 15 番７号
⓯	海技大学校	西蔵町 12 番 24 号
⓰	打出浜小学校	新浜町８番２号
⓱	精道中学校	南宮町９番７号
⓲	浜風小学校	浜風町１番１号
⓳	浜風あすのこども園	浜風町１番２号
⓴	潮見中学校	潮見町 20 番１号
㉑	県立芦屋特別支援学校	陽光町８番 37 号

※上記以外の避難所については、令和元年度芦屋市防災情報マップ（６月配布）を参照してください。

避難情報と警戒レベル

警戒レベル１　災害への心構えを高めましょう。
早期注意情報　気象庁が発表

警戒レベル２　避難に備え、防災情報マップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。
高潮注意報・大雨注意報等　気象庁が発表

警戒レベル3や4が発令されたら、地域の皆さんで声をかけあって、安全・確実に避難しましょう。

高齢者等は危険な場所から避難
警戒レベル３　避難に時間を要する人（ご高齢の方、障がいのある人、乳幼児等）とその支援者は危険な場所から避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。
高齢者等避難　芦屋市が発令

危険な場所から全員避難
警戒レベル４　危険な場所から全員避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。
避難指示　地域の状況に応じて緊急的又は重ねて避難を促す場合等に芦屋市が発令

警戒レベル5では既に災害が発生または切迫しています。
警戒レベル５　既に災害が発生または切迫している状況です。命の危険があるため、直ちに安全確保する必要があります。
緊急安全確保　災害が実際に発生または切迫していることを把握した場合に、芦屋市が発令

各種の情報は、警戒レベル 1～5 の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

津波一時避難施設一覧

No	名　称	所在地
①	宮川小学校	浜町１番９号
②	海技大学校	西蔵町 12 番 24 号
③	保健福祉センター	呉川町 14 番９号
④	木口記念会館	呉川町 14 番 10 号
⑤	打出浜小学校	新浜町８番２号
⑥	精道中学校	南宮町９番７号
⑦	浜風小学校	浜風町１番１号
⑧	潮見小学校	潮見町１番２号
⑨	潮見中学校	潮見町 20 番１号
⑩	精道小学校	精道町８番 25 号
⑪	県立芦屋高等学校	宮川町６番３号
⑫	体育館・青少年センター	川西町 15 番３号
⑬	県営南芦屋浜団地 1～6 号棟	陽光町６番 1～6 号
⑭	市営南芦屋浜団地 1～6 号棟	陽光町５番 1～6 号
⑮	藤和ライブタウン 芦屋呉川町ルミナンス	呉川町 13 番３号
⑯	ロイヤル芦屋松浜	松浜町８番 18 号
⑰	芦屋パレスハイツ 北館	平田町２番７号
⑱	芦屋パレスハイツ 南館	平田町２番８号
⑲	芦屋サンプラザ	平田町５番８号
⑳	芦屋松浜ハイツ	松浜町５番 15 号
㉑	県立国際高等学校・県立芦屋国際中等教育学校	新浜町１番２号
㉒	UR 都市機構芦屋浜団地 1～3 号棟	高浜町２番 1～3 号
㉓	UR 都市機構芦屋浜団地 1～2 号棟	高浜町４番１号,2 号
㉔	UR 都市機構芦屋浜団地 1～2 号棟	若葉町５番１号,2 号
㉕	県公社芦屋浜高層（高浜）団地 1～2 号棟	高浜町５番１号,2 号
㉖	県公社芦屋浜高層（若葉）団地 1～2 号棟	若葉町４番１号,2 号
㉗	県営芦屋浜（高浜）団地 1～3 号棟	高浜町８番 1～3 号
㉘	県営芦屋浜（若葉）団地 1～3 号棟	若葉町７番 1～3 号
㉙	市営大東町 14 番住宅	大東町 14 番 16 号
㉚	市営大東町５番住宅	大東町５番９号
㉛	市営大東町４番住宅	大東町４番 16 号
㉜	市営大東町 11 番住宅	大東町 11 番７号
㉝	市営大東町 17 番住宅３号棟	大東町 17 番３号
㉞	改良若宮町住宅１号棟	若宮町２番 18 号
㉟	株式会社 永瀬 本社ビル	精道町 10 番 12 号
㊱	サウスパレス芦屋	南宮町６番 16 号
㊲	本庁舎東館	精道町８番 28 号
㊳	ハーティネス芦屋	浜町 13 番 10 号
㊴	ダイアパレス芦屋浜町	浜町 10 番 11 号
㊵	芦屋市分庁舎	精道町８番 20 号

福祉避難所一覧

No	名　称	所在地
❶	アクティブライフ芦屋	岩園町 11 番 15 号
❷	アクティブライフ山芦屋	山芦屋町９番 18 号
❸	芦屋アラベラの家	朝日ケ丘町９番１号
❹	あしや聖徳園	六麓荘町３番 57 号
❺	こころあい芦屋	岩園町 29 番 14 号
❻	保健福祉センター	呉川町 14 番９号
❼	みどり地域生活支援センター	新浜町３番２号
❽	愛　し　や	浜風町 31 番３号
❾	あしや喜楽苑	潮見町 31 番１号
❿	エルホーム芦屋	浜町 12 番３号
⓫	マイホーム芦屋	陽光町８番 30 号
⓬	陽　光　苑	陽光町３番 75 号
⓭	Les 芦屋	川西町 14 番１号
⓮	芦屋ケアセンターそよ風	松浜町 13 番 18 号
⓯	芦屋ブーケの里	打出町６番４号
⓰	シニアライフコート潮芦屋	陽光町４番 55 号
⓱	県立芦屋特別支援学校	陽光町８番 37 号

想定し得る最大規模の高潮発生前に備える“避難の方法”

マップを見て想定最大規模の高潮が発生した場合の**浸水深**と自分が住んでいる**建物の高さ**を調べ、次の基準に当てはまるかを確認し、高潮発生の恐れがある際の避難方法について、事前に決めておきましょう。

＜基　準＞
【参考：内閣府／避難勧告等に関するガイドライン②（発令基準・防災体制編）】
（１）平屋の建物で床上まで浸水するか
（２）２階建て以上の建物で浸水の深さが２階の床の高さを上回るか

（１）か（２）に該当し、自宅で安全の確保ができない場合

警戒レベル段階	立ち退き避難の方法とタイミング
警戒レベル１段階	
警戒レベル２段階 高潮注意報等	浸水区域外の親戚・友人宅等の長期滞在可能な場所へ避難
警戒レベル３段階 高齢者等避難	開設されている避難所に避難
警戒レベル４段階 避難指示	開設されている避難所に避難
警戒レベル５段階 緊急安全確保	津波一時避難施設等の上階に避難

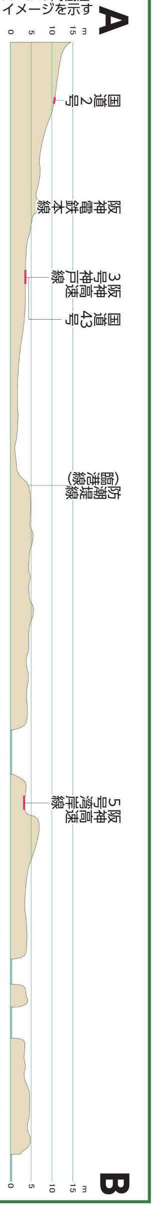
自宅に留まると危険な可能性があります。自宅から離れ、避難所等（避難が間に合わない場合は津波一時避難施設等）への早めの避難を検討してください。
※風雨が激しい中での避難は危険です。

（１）か（２）に該当しない場合は

「自宅内で安全確保ができる場所へ移動」する避難方法もあります。
ただし、浸水の継続時間によっては、危険な場合もありますので、慎重な判断を心がけましょう。

縦断図

A～B の高低差イメージを示す


A
B
m
0
5
10
15
国道２号
阪神電鉄本線
阪神高速３号神戸線
国道 43 号
防潮堤（臨港線）
阪神高速５号湾岸線

令和元年度芦屋市防災情報マップ（６月配布）に掲載の縦断図について一部誤りがございました。

想定し得る最大規模の高潮浸水想定区域図について

近年、想定を超える浸水被害が発生している状況を踏まえ、平成２７年５月に水防法が改正されたため、兵庫県より新たに**想定し得る最大規模の高潮浸水想定区域**が作成・公表されました。

○想定し得る最大規模の高潮とは

条件
①中心気圧がわが国既往最大の台風（※１）で、勢力を保ち続けることを想定
②台風の移動速度は伊勢湾台風規模（1959 年・移動速度 73km/h）を想定
③大潮の満潮時に潮位偏差（※2）が最大となる経路を通過

○浸水想定区域図とは

複数の台風経路で高潮浸水シミュレーションを実施し、それらの結果から各地点において最大となる浸水の深さを抽出し、『浸水区域』及び『最大となる浸水の深さ』を表した図面です。

○発生確率

室戸台風級の台風が大阪湾周辺を通過する確率は 500 年から 4000 年に１回程度と想定されています。

●詳細についてはホームページで閲覧できます。

※1　日本に接近した台風のうち観測開始から現在までの期間に記録された最大規模の台風（室戸台風（1934 年・上陸時 911.6hPa））
※2　天体の動きから算出した潮位の予想と気象などの影響を受けた実際の潮位の差（ズレ）

芦屋市高潮防災情報マップについて

芦屋市では平成３０年９月に台風２１号の高潮・高波による大きな被害がありました。
このことからも浸水の可能性を知り、高潮や台風等に対する日常的な備えや避難（避難所への避難や浸水想定区域外への避難）に役立てていただくために、兵庫県が公表した高潮浸水想定区域図を基に芦屋市の高潮防災情報マップを作成しました。

留意事項
◎今回、兵庫県より公表された【浸水する深さ】の他に【浸水の継続時間】も避難行動の判断要素となります。
今後、関係機関が連携して、想定し得る最大規模の高潮への対策の具体化に向けた検討を行い、新たな知見が得られた場合や兵庫県より別途、浸水継続時間について公表された場合は、必要に応じて、本マップも見直しをいたします。
◎想定し得る最大規模（５００年から４０００年に１回程度の発生確率）の高潮条件ですので、想定以下の浸水となる場合もあります。
◎実際に高潮が発生する際は、規模・段階に応じて避難所を開設します。浸水被害が発生する前に、避難を開始しましょう。
◎本マップの裏面は大雨や高潮等の災害に関する防災情報を記載しております。防災の知識を深め、災害に備えましょう。

海・川の防災情報ＨＰ

台風の接近等により荒天が予想される場合は特に情報を気にかけましょう。

海の防災情報……

兵庫県 海の防災情報　検索

川の防災情報……

国土交通省 川の防災情報　検索

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図（国土基本情報）電子国土基本図（地図情報）を使用した。（承認番号　令元情使、第 505 号）